



SPARC M12/M10 プレインストール情報

2017年4月
富士通株式会社

登録商標について

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

すべての SPARC商標は、米国SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SPARC M12/M10 は、Oracle Solaris（以下、Solaris と記載することがあります）などのソフトウェアがプレインストールされています。ここでは、プレインストールされているソフトウェア構成や注意事項について説明します。

1 プレインストールソフトウェアプロダクト

■ Oracle Solaris

すべての SPARC M12/M10 には、以下のいずれかの Solaris がプレインストールされています。

SPARC M12

- Oracle Solaris 11.3 SRU17021(SRU11.3.17)以降

SPARC M10

- Oracle Solaris 10 1/13 以降
- Oracle Solaris 11.1 SRU12111(SRU1.4)以降

インストールされている OS のリリース版数は、以下で確認できます。

例) Oracle Solaris 10 1/13 の場合

```
% cat /etc/release
Oracle Solaris 10 1/13 s10s_u11wos_24a SPARC
Copyright (c) 1983, 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
Assembled 17 January 2013
```

例) Oracle Solaris 11.1 の場合

```
% cat /etc/release
Oracle Solaris 11.1 SPARC
Copyright (c) 1983, 2012, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
Assembled 19 September 2012

% pkg info entire
Name: entire
Summary: entire incorporation including Support Repository Update (Oracle Solaris 11.1 SRU 1.4).
Description: This package constrains system package versions to the same build. WARNING: Proper system update and correct package selection depend on the presence of this incorporation. Removing this package will result in an unsupported system. For more information see https://support.oracle.com/CSP/main/article?cmd=show&type=NOT&doctype=REFERENCE&id=1372094.1.
Category: Meta Packages/Incorporations
State: Installed
Publisher: solaris
Version: 0.5.11 (Oracle Solaris 11.1 SRU 1.4)
Build Release: 5.11
Branch: 0.175.1.1.0.4.0
Packaging Date: Tue Nov 06 00:13:44 2012
Size: 5.46 kB
FMRI: pkg://solaris/entire@0.5.11,5.11-0.175.1.1.0.4.0:20121106T001344Z
```

プレインストールされている Solaris 11 のパッケージグループは、以下となります。

```
group/system/solaris-large-server
system/test/sunvts
```

プレインストールされているパッケージは、OS のリリース版数により異なる場合があります。プレインストールされているパッケージについては、`pkginfo` コマンド (Solaris 10 の場合)、または `pkg` コマンド (Solaris11 の場合) でご確認ください。

■ Oracle VM Server for SPARC

すべての SPARC M12/M10 に、Oracle VM Server for SPARC がプレインストールされています。制御ドメインにおいて本ソフトウェアは必須ソフトウェアです。

2 ディスクパーティション構成

■ Oracle Solaris 11 の場合

Oracle Solaris 11 がプレインストールされている場合、プレインストールされているシステムディスクは、ZFS ルートファイルシステムになります。システムディスク上のすべてのディスク領域は、プレインストールソフトウェア用に割り当て済ですが、スワップデバイスとダンプデバイスのサイズは `zfs` コマンドで変更することができます。

■ Oracle Solaris 10 の場合

Oracle Solaris10 がプレインストールされている場合、システムディスクはデフォルトで以下のようなディスクパーティション構成となっています (ファイルシステムは UFS)。

スライス	ファイルシステム	サイズ
0	root	16GB
1	swap	16GB
2	backup	ディスク全体
3	-	16GB
4 ~ 7	-	

実際のサイズは、以下の手順により確認することができます。

- 1) `format(1M)` コマンドを実行します。

```
# format
Searching for disks...done
```

- 2) ディスクを指定します。

```
Specify disk (enter its number): 0
```

- 3) `partition` メニューを選択します。

```
format> p
```

- 4) 表示を選択します。

```
partition> p
```

【表示例】

Part	Tag	Flag	Cylinders		Size	Blocks	
0	root	wm	1 -	1861	16.01GB	(1861/0/0)	33564996
1	swap	wu	1862 -	3722	16.01GB	(1861/0/0)	33564996
2	backup	wu	0 -	64985	558.89GB	(64986/0/0)	1172087496
3	unassigned	wm	3723 -	5583	16.01GB	(1861/0/0)	33564996
4	unassigned	wm	0		0	(0/0/0)	0
5	unassigned	wm	0		0	(0/0/0)	0
6	unassigned	wm	0		0	(0/0/0)	0
7	unassigned	wm	0		0	(0/0/0)	0

5) パーティションメニューを終了します。

```
partition>: q
```

6) format メニューを終了します。

```
format>: q
```

3 プレインストールソフトウェアを使用する上での注意事項

- ・ プレインストールされているソフトウェアに関する不具合や回避方法については、「SPARC M12 プロダクトノート」または「SPARC M10 プロダクトノート」を参照してください。

4 その他

4.1 Oracle Solaris ライセンスについて

Oracle Solaris ライセンス（使用权）は、本体処理装置、及び OS サポートを含む SupportDesk サービスに含まれており、次のとおりです。

① **本体処理装置(OS サポートなし) :**

プレインストールされている Oracle Solaris のバイナリーのみ商用利用する権利が含まれています。

② **本体処理装置(OS サポート[平日]1 年間付) :**

プレインストールされている Oracle Solaris のバイナリーを商用利用する権利と、富士通出荷後 1 年間はプレインストールされている Oracle Solaris のバイナリー以外に変更して商用利用する権利が含まれています。

③ **OS サポートを含む SupportDesk サービス :**

サポート期間中にプレインストールされている Oracle Solaris のバイナリー以外に変更して商用利用する権利が含まれています。

Oracle Solaris のメディアパックには Oracle Solaris ライセンス（使用权）は含まれていません。

4.2 Oracle Solaris メディアパックについて

ハードウェア異常などでハードディスクを交換した場合、交換したディスクには、ソフトウェアはプレインストールされていません。交換前のハードディスクにプレインストールされた Oracle Solaris をそのまま使用される場合も、システムの再構築・再インストールに備えて、Oracle Solaris メディアパックを手配してください。

Oracle Solaris メディアパックの使用条件は、本体処理装置、OS サポートの手配により、下表のように異なります。

本体処理装置にプレインストールされている Oracle Solaris バイナリーの版数から手配するメディアパックの Oracle Solaris 版数への変更可否にはご注意ください。

また、当社が販売した Oracle Solaris メディアパックは、当社が販売した本体処理装置でのみ使用することができます。

手配/契約内容			本体処理装置にプレインストールされているバイナリーの版数			
本体処理装置	出荷後の経過期間	OS サポートを含む SupportDesk サービス	メディアパック	Oracle Solaris 11. X	Oracle Solaris 11. Y	Oracle Solaris 10 Z/Z
本体処理装置 (OS サポート [平日]1年間付)	1年以内	契約/ 未契約	Oracle Solaris 11. X	○ 再イン ストール可	○変更可	○変更可
	2年目 以降	契約			○変更可	○変更可
		未契約			×変更不可	×変更不可
本体処理装置 (OS サポートなし)	—	契約			○変更可	○変更可
		未契約	×変更不可	×変更不可		